RasterLink8

差込印刷ガイド

差込印刷データの作成と印刷手順

株式会社ミマキエンジニアリング
https://japan.mimaki.com/
D204018-10

目次

はじめに 3
ご注意 3
この説明書について 4

第 1 章 データ作成と印刷手順

1.1 差込印刷とは 6
1.2 ワークフロー 7
1.3 手順 8
1. 背景画像の作成 8
2. 画像の用意 8
3. データベースの作成 9
4. 背景画像の読み込み 11
5. 差込編集画面を開く 11
6. データベースの読み込み 12
7. 差込印刷定義名の入力 13
8. 差込エリアの設定 13
9. 印刷 20

第 2 章 ナンバリング機能

2.1 ナンバリング機能とは 24
2.2 ワークフロー 25
2.3 手順 26
1. 背景画像の作成 26
2. 背景画像の読み込み 26
3. 差込編集画面を開く 27
4. ナンバリング設定 27
5. 差込印刷定義名の入力 29
6. 差込エリアの設定 29
7. 印刷 31

第 3 章 こんなときは

3.1 エラーメッセージの対処方法 36
3.2 データベースを差し替えるには 37
3.3 差込印刷と合成を組み合わせた印刷物を作成するには 38
3.4 差込印刷で使用できるフォントを増やすには 39

はじめに

本書では、Mimaki製プリンターに添付のソフトウェアRasterLink8を使った差込印刷の印刷方法と設定について説明します。RasterLink8の操作方法については、RasterLink8リファレンスガイドおよび関連マニュアルをご覧ください。

ご注意

- 本書の一部、または全部を無断で記載したり、複写したりすることは固くお断りします。
- 本書の内容に関しまして、将来予告無しに変更することがあります。
- 本ソフトウェアの改良変更などにより、仕様面において本書の記載事項が一部異なる場合があります。
- 本書に記載している株式会社ミマキエンジニアリング製ソフトウェアを他のディスクにコピーしたり（バックアップを目的とする場合を除く）、実行したりする以外の目的でメモリにロードすることを固く禁じます。
- 株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。一例として、本製品を使用してのメディア（ワーク）などの損失、メディアを使用して作成された物によって生じた、間接的な損失などの責任負担もしないものとします。

RasterLinkは株式会社ミマキエンジニアリングの日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

Adobe Illustratorは、Adobe Inc.の米国ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国ならびにその他の国での登録商標、または商標です。

その他、本書に記載されている会社名、および商品名は、各社の商標または登録商標です。

この説明書について

本文中の表記について

- 画面に表示されるボタンや項目は、[OK]、[ファイルを開く]のように[ ]で囲っています。

マークについて

内容		
重 要!	重要	「重要」マークは、本ツールをお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。
	一般強制指示	実行しなければならない事項を示しています。具体的な強制指示内容は、マークの中に描かれています。
	ヒント	「ヒント」マークは、知っておくと便利なことが書かれています。
	参照情報	関連する内容の参照ページを示しています。文字をクリックすると該当ページが表示されます。

本書および関連説明書の入手方法

本書および関連する説明書の最新版は、以下の方法で提供しています。

- 弊社公式サイト（https://japan.mimaki.com/download/software.html）

第 1 章　データ作成と印刷手順

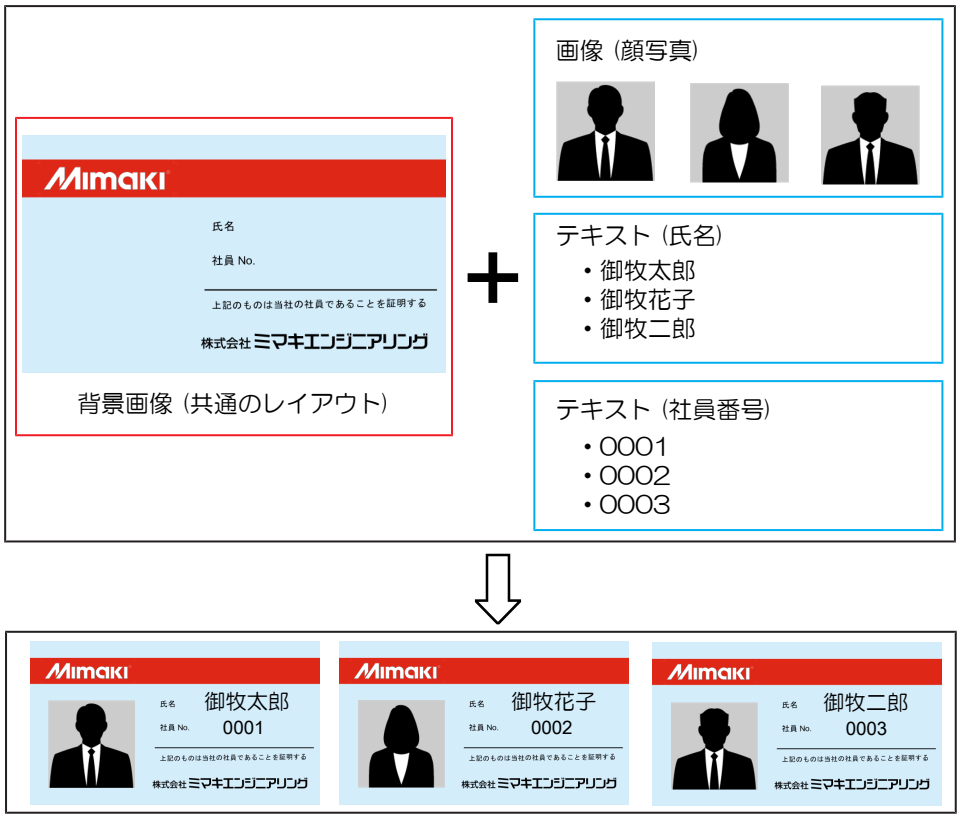
この章では...

差込印刷用のデータ作成と印刷手順について説明します。

差込印刷とは.....6
ワークフロー.....7
手順.....8
1. 背景画像の作成.....8
2. 画像の用意.....8
3. データベースの作成.....9
4. 背景画像の読み込み.....11
5. 差込編集画面を開く.....11
6. データベースの読み込み.....12
7. 差込印刷定義名の入力.....13
8. 差込エリアの設定.....13
9. 印刷.....20

1.1 差込印刷とは

差込印刷とは、背景画像に氏名や写真などのデータを変えながら印刷を行うことです。



本章では、背景画像の作成から差し込み用データ作成、印刷までの手順を解説します。
以下のソフトウェアを使用します。

1. Adobe Illustrator
2. Microsoft Excel
3. RasterLink8

1.2 ワークフロー

1. [デザインソフト] 背景画像の作成

☞「1. 背景画像の作成」（P. 8）

2. [カメラなど] 顔写真の用意

☞「2. 画像の用意」（P. 8）

3. [Excel] データベースの作成

☞「3. データベースの作成」（P. 9）

4. [RasterLink8] 背景画像の読み込み

☞「4. 背景画像の読み込み」（P. 11）

5. [RasterLink8] 差込編集画面を開く

☞「5. 差込編集画面を開く」（P. 11）

6. [RasterLink8] データベースの読み込み

☞「6. データベースの読み込み」（P. 12）

7. [RasterLink8] 差込印刷定義名の入力

☞「7. 差込印刷定義名の入力」（P. 13）

8. [RasterLink8] 差込エリアの設定

☞「8. 差込エリアの設定」（P. 13）

9. [RasterLink8] 印刷

☞「9. 印刷」（P. 20）

1.3 手順

1. 背景画像の作成

1 データを差し込むエリア（赤破線部）を想定して、背景画像を作成する。

1	顔写真を差し込むエリア
2	氏名を差し込むエリア
3	社員番号を差し込むエリア

2 作成した背景画像を保存する。

- 背景画像の保存形式は以下の３種類です。
  PDF, EPS, PS

2. 画像の用意

差し込む画像を準備します。
ここでは顔写真を用意します。

顔写真1

顔写真2

顔写真3

- 画像サイズは差し込むエリアに対して合わせる必要はありません。
- あとからRasterLink上で調整することができます。
- 使用可能なファイル形式は以下の2種類です。
  JPEG, TIFF

3. データベースの作成

背景画像に差し込むデータベースを作成します。

● データベースをExcelで作成する場合

1	列の名称(ヘッダ部)	それぞれの列の1行目は「ヘッダ」として名称を入力してください。列の名称は差込設定の項目名として使用されるため、必ず作成してください。
2	差し込むデータ(データ部) • 画像を差し込む場合はファイルパスを入力します。 • 文字列を差し込む場合は文字列を入力します。	画像のファイルパス：「画像ファイルが置いてある場所」＋「¥」＋「ファイルの名前」 • 画像ファイルが置いてある場所：Windowsエクスプローラーで画像ファイルを右クリックして[プロパティ]を選択します。[全般]タブの[場所]に「画像ファイルが置いてある場所」が表示されます。 • ファイルの名前：拡張子付きのファイル名です。例）JPEG画像の場合は、拡張子は[.jpg]です。

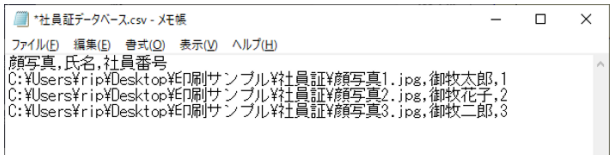
- 列は**最大30**、行は**最大1000**まで設定が可能です。
- Excelで作成したデータベースは「**CSV UTF-8（カンマ区切り）**」で保存してください。

重要！
- Excelで「CSV UTF-8(カンマ区切り)」で保存ができない場合は、Excelで「CSV (カンマ区切り) 」で保存後に、メモ帳でUTF-8形式で保存しなおす必要があります。
詳細は次の☞「データベースをUTF-8形式で保存する場合」（P. 9）を参照してください。

● データベースをUTF-8形式で保存する場合

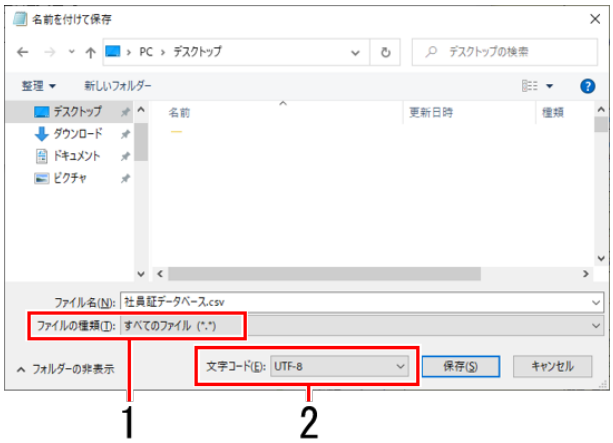
1 **Excelで作成したデータベースを「メモ帳」で開く。**

- Windowsエクスプローラーでデータベースを右クリックし、[プログラムから開く] - [メモ帳]を選択します。



2 **[ファイル] - [名前を付けて保存]をクリックする。**

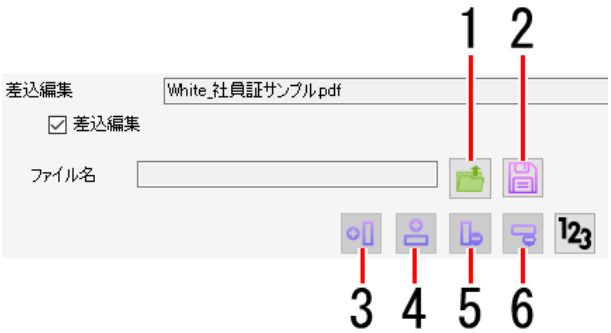
3 以下の条件を選択し、[保存]をクリックする。



1	ファイルの種類	“すべてのファイル (*.*)”を選択します。
2	文字コード	“UTF-8”を選択します。

● データベースをRasterLink8の画面で作成する場合

差込印刷画面でデータベースの新規作成／更新／保存ができます。



1		データベース（CSVファイル）を選択して読み込みます。
2		現在画面に表示されている内容をデータベース（CSVファイル）ファイルに保存します。
3		データベース（CSVファイル）に1列追加します。 データベースの新規作成はこのボタンから開始します。
4		データベース（CSVファイル）に1行追加します。
5		現在選択されているデータベース（CSVファイル）の1列を削除します。
6		現在選択されているデータベース（CSVファイル）の1行を削除します。

1 ：データベースに1列追加します。

2 ：任意に列/行を追加してデータベースを作成します。

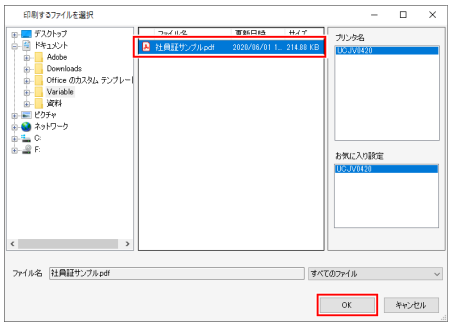
3 ：データベースをファイルに保存します。

4. 背景画像の読み込み

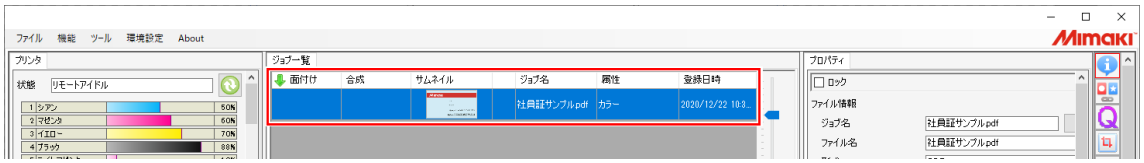
☞「1. 背景画像の作成」（P. 8）で作成した背景画像をRasterLinkに読み込みます。

1 [ファイル] - [開く]メニューを選択する。

2 [印刷するファイルを選択]ダイアログで背景画像を選択して、[OK]をクリックする。

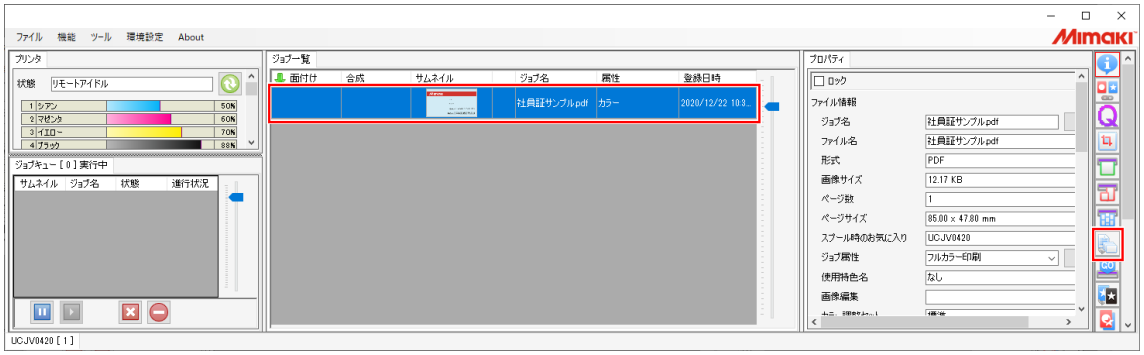


3 入力した背景画像がジョブ一覧に表示されていることを確認する。



5. 差込編集画面を開く

1 読み込んだ背景画像を選択し、差込編集アイコンを選択する。



2 差込編集チェックボックスをオンにする。

- チェックボックスをオンにすると差込印刷の設定と印刷ができます。
- 背景画像のみを印刷したい場合は、チェックボックスをオフにしてください。

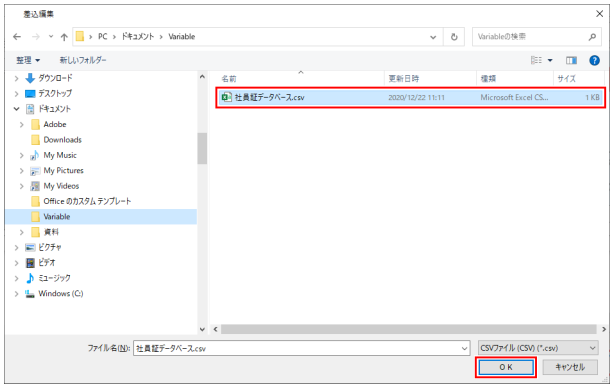
6. データベースの読み込み

☞ 「3. データベースの作成」（P. 9）で作成したデータベースを読み込みます。

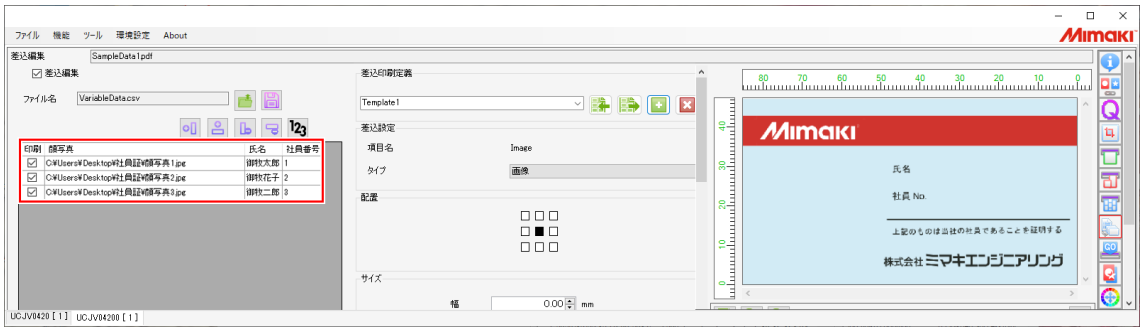
- 差込画面でデータベースを作成した場合は、読み込み作業は不要です。

1 データベース(CSVファイル)読み込みボタンをクリックする。

2 [差込編集]ダイアログで読み込むデータベースを選択し、[開く]をクリックする。



3 読み込まれたデータベースが表示されたことを確認する。



7. 差込印刷定義名の入力

任意の差込印刷定義名を入力して をクリックします。

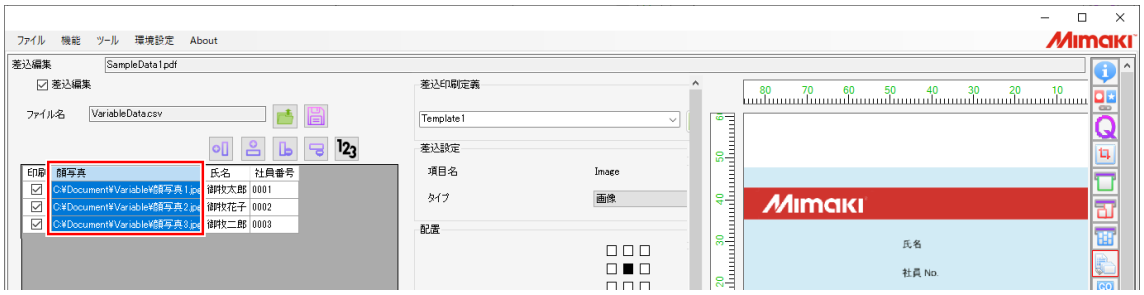
重 要 !
- 差込印刷定義名を入力しないと、差込条件を設定することができません（画面がアクティブになりません）。
- 差込印刷定義名が入力されていれば画面の終了時に差込条件が自動で保存されます。

- 保存された差込印刷定義を選択すると、差込エリアの設定条件を再設定する手間を省略できます。

8. 差込エリアの設定

● 画像を入れる場合

1 左上のリストで列名称(画像)を選択する。(列全体が選択されます)

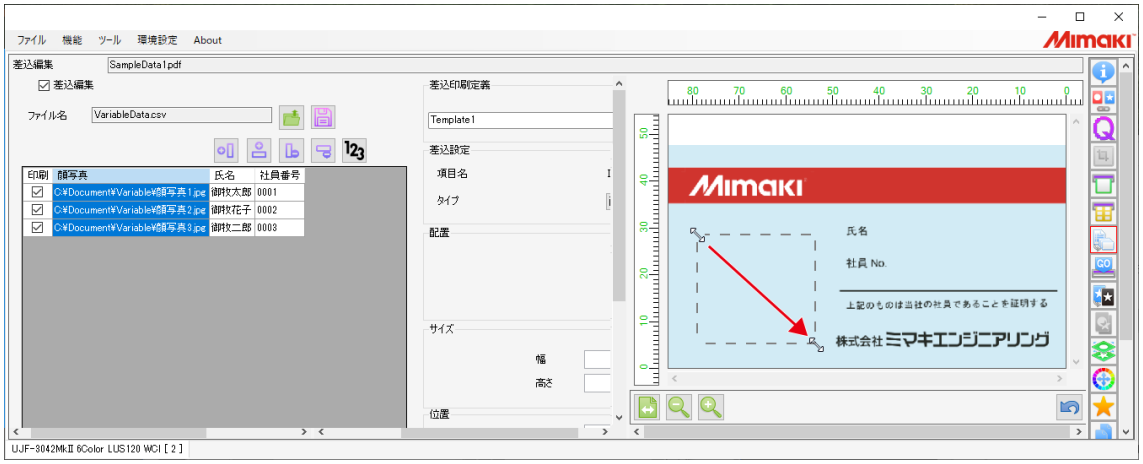


2 差込エリアのサイズと位置を決める。

(1) 右下のプレビュー画面に赤い点が表示されていることを確認する。

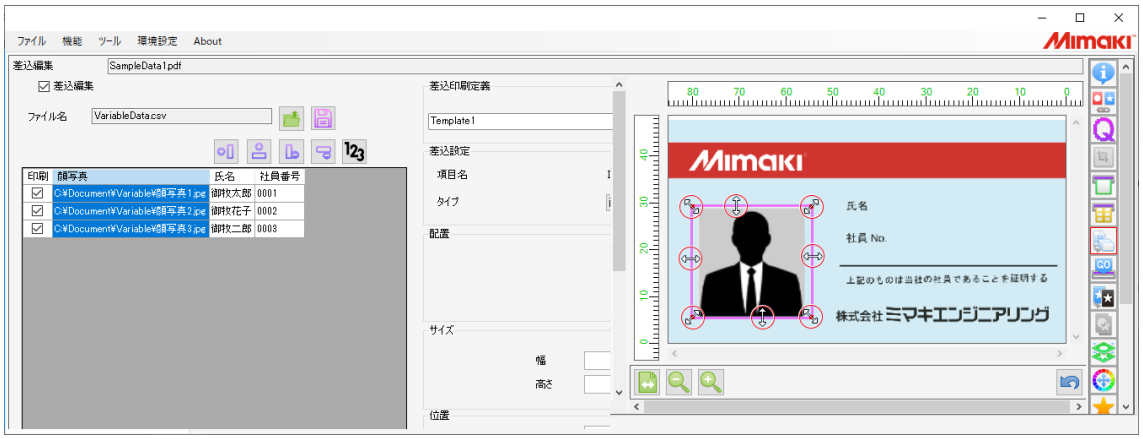
(2) 赤い点を、差込エリアの左上でクリックしたまま右下斜め方向にドラッグし、差込エリアのサイズを決める。

- 差込エリアの位置とサイズが決定され、差込エリアにマゼンタ色の枠が表示されます。
- [サイズ]の[幅]と[高さ]、[位置]の[幅]と[送り]に、数値が自動で反映されます。



(3) 差込エリアのサイズを微調整する。

- 差込エリアのマゼンタ色の枠上にカーソルを置くと、カーソル形状が横/縦/斜めのカーソルに変わります。横/縦/斜めのカーソルをドラッグしてサイズを変更してください。

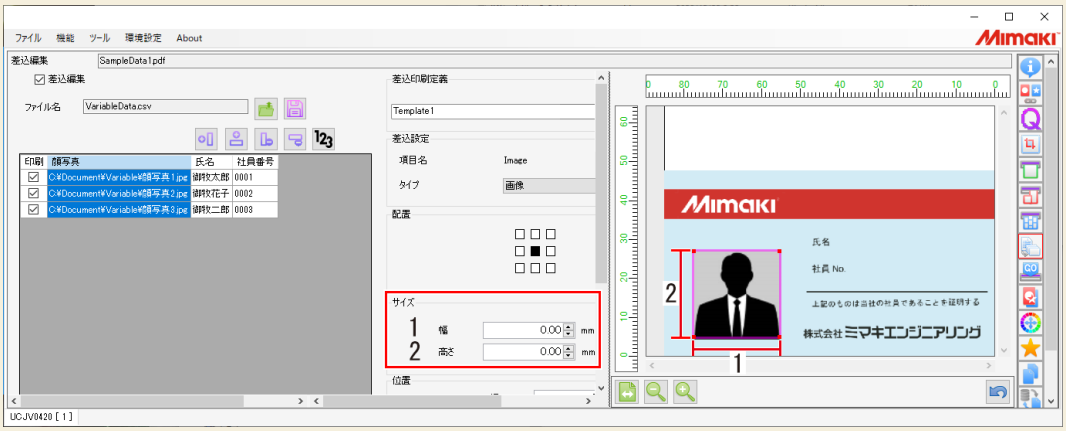


(4) 差込エリアの位置を微調整する。

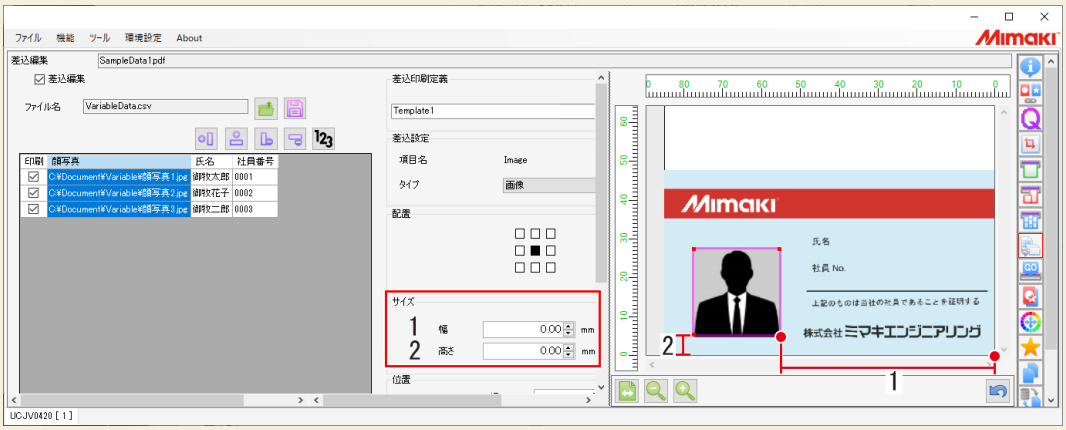
- 差込エリアの上にカーソルを置くと、カーソルの形状が十字のカーソルに変わります。十字のカーソルをドラッグして位置を変更してください。

サイズと位置に数値を直接入力して差込エリアのサイズと位置を変更することもできます。

- 差込エリアのサイズ([幅], [高さ])を入力します。入力したサイズは、プレビュー画面にマゼンタ色の枠で表示されます。

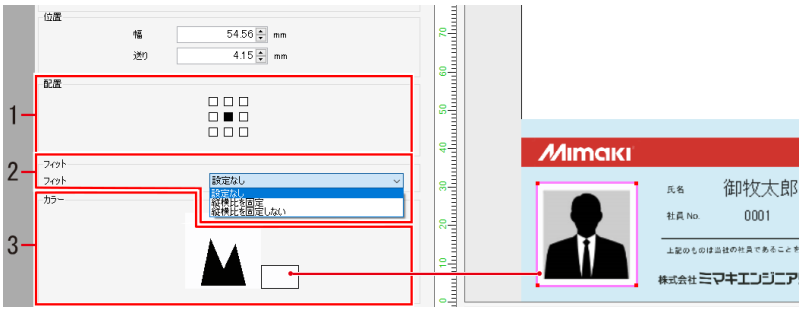


- 差込エリアの位置を、プレビュー画面の右下からの[送り]と[幅]で入力します。入力した位置に、差込エリアが配置されます。



- プレビュー画面で差込エリアのサイズや位置を変更したい場合、必ず左上のリストで変更したい列名称を選択してから行ってください。プレビュー画面で差込エリアを選択することはできません。

3 配置や色を設定する。



1	配置	差込エリアの配置位置を指定します。
2	フィット	• [設定なし]: 画像が実寸で表示されます。 • [縦横比を固定]: 手順2で設定した枠に縦横比を固定した画像が表示されます。 • [縦横比を固定しない]: 手順2で設定した枠にフィットするように画像が表示されます。
3	カラー	手順2で設定した枠と画像のサイズが異なる場合、余白の色を指定します。 (色を指定しない場合、背景色になります)

● 文字列を入れる場合

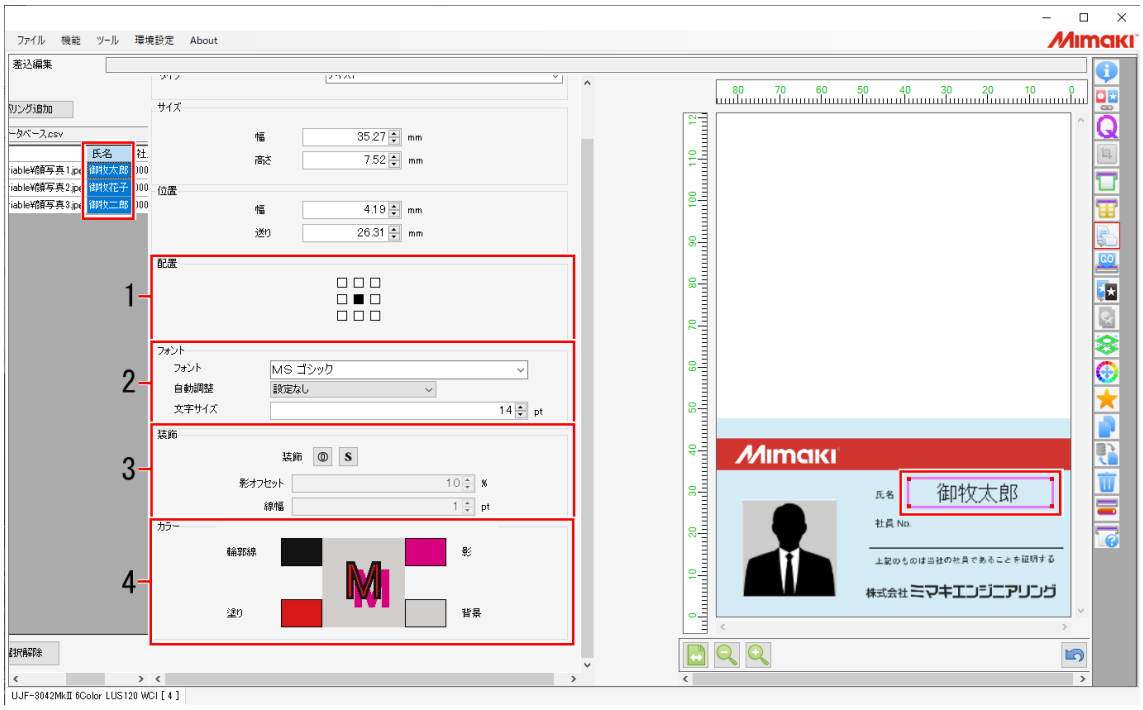
1 列名称(文字列)を選択する。(列全体が選択されます)

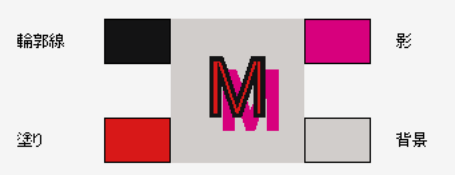
2 差込エリアのサイズと位置を決める。

- 詳しくは☞ 「サイズと位置を決める」（P. 13）をご覧ください。

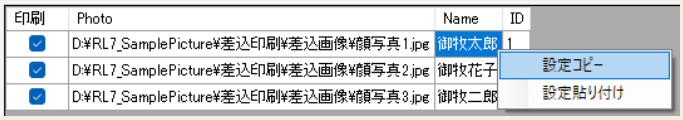
3 配置や色を設定する。

- 詳しくは「配置や色を設定する」（P. 30）をご覧ください。



1	配置	差込エリアの配置位置を指定します。
2	フォント	文字列のフォントとサイズ、自動調整の有無を指定します。
3	装飾	文字列の輪郭線、太字、イタリック、下線影、円弧、文字の書き出し位置を指定します。 「円弧について」（P. 18）
4	カラー	文字列の輪郭線、影、塗り、背景の色を指定します。 

- 列名称またはセルを選択してマウスを右クリックすると[設定コピー]/[設定貼り付け]メニューが表示され、設定をコピーすることができます。
  例：
  (1) コピー元のセルを選択してマウスを右クリックして[設定コピー]をクリックします。
  (2) コピー先のセルを選択してマウスを右クリックして[設定貼り付け]をクリックします。
  - コピー元のセルの条件設定がコピー先のセルにコピーされます。



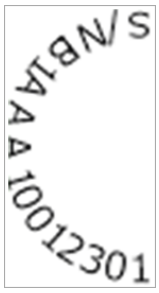
円弧について

文字列の配置を円弧形状に設定することができます。
[配置]、[円弧]、[文字の書き出し位置]を組み合わせることで任意の形状に配置できます。
直線配置の文字を例に形状の例を示します。

円弧

文字 S/N:B1AAA10012301

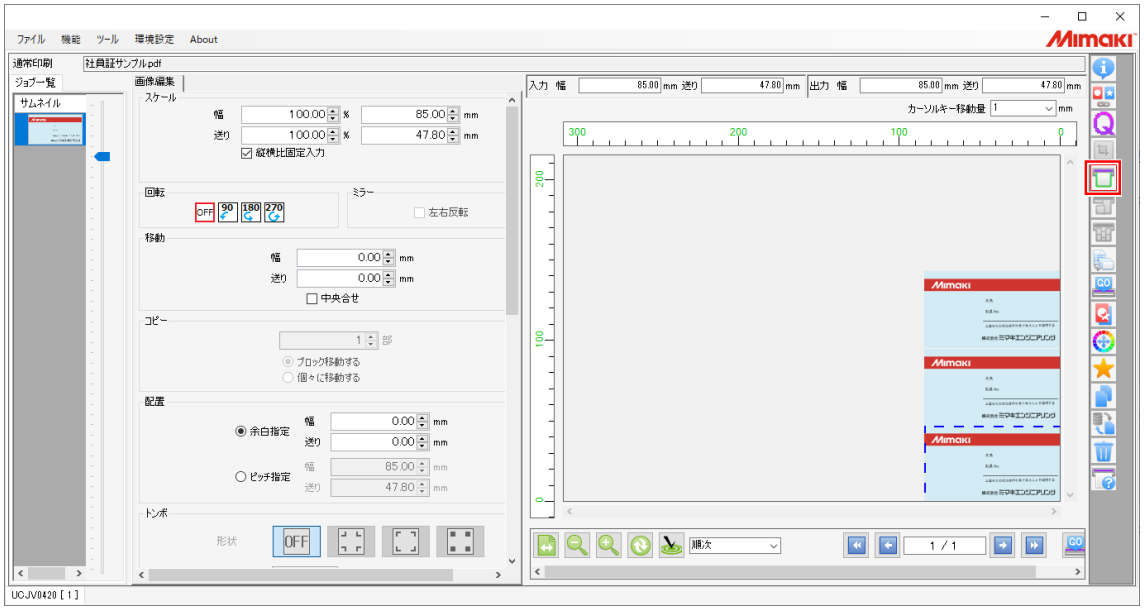
配置が中央の場合		
文字書き出し位置	円弧	円弧
0° (0.00 °)		
180° (180.00 °)		

配置が左の場合		
文字書き出し位置	円弧	円弧
0°		
180°		

配置が右の場合		
文字書き出し位置	円弧	円弧
0°		
180°		

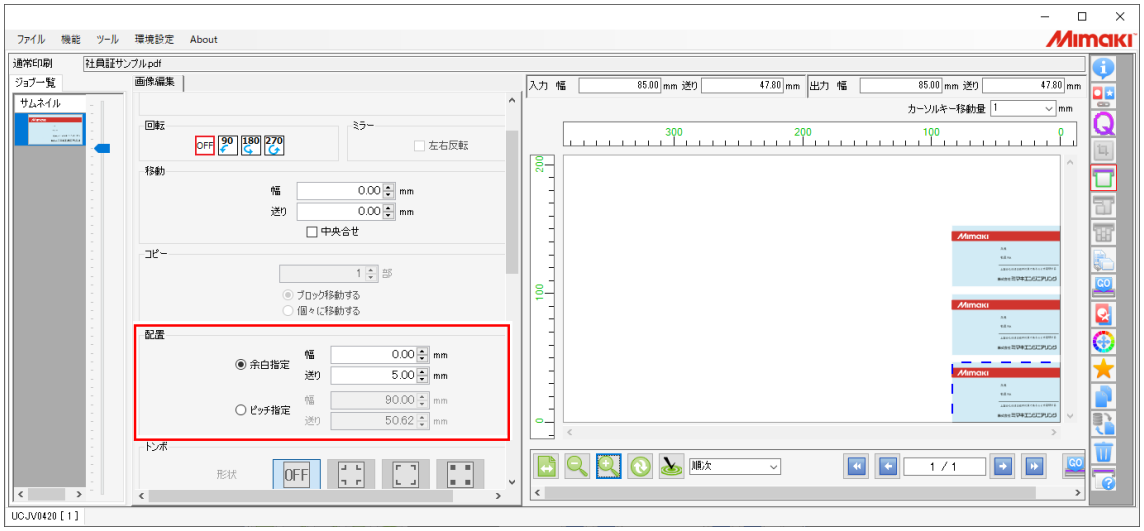
9. 印刷

1 [通常印刷]アイコン を選択し、印刷レイアウトを確認する。



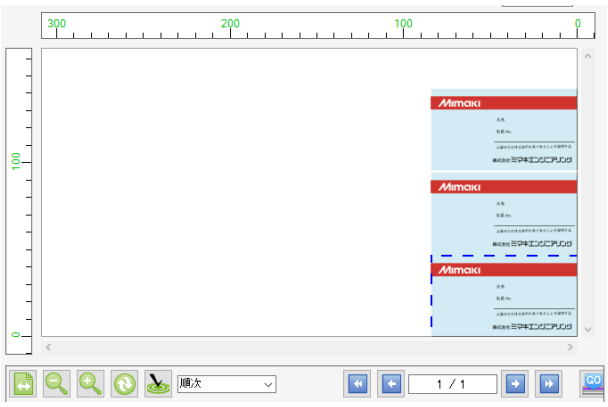
2 データ間に余白を入れたい場合、[配置]で余白値を入力する。

- 幅: 左右の余白
- 送り: 上下の余白

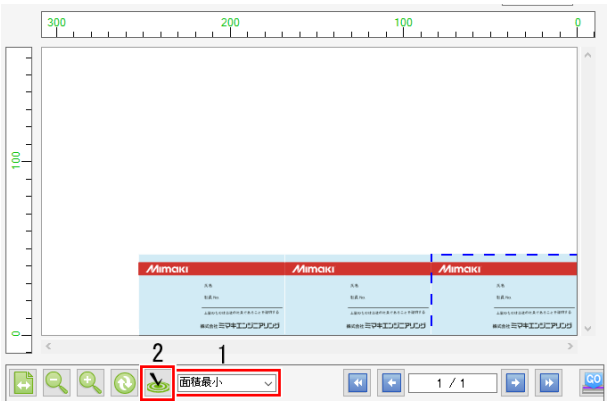


3 縦並び/横並びにする。

- 初期画面は縦並びになります。



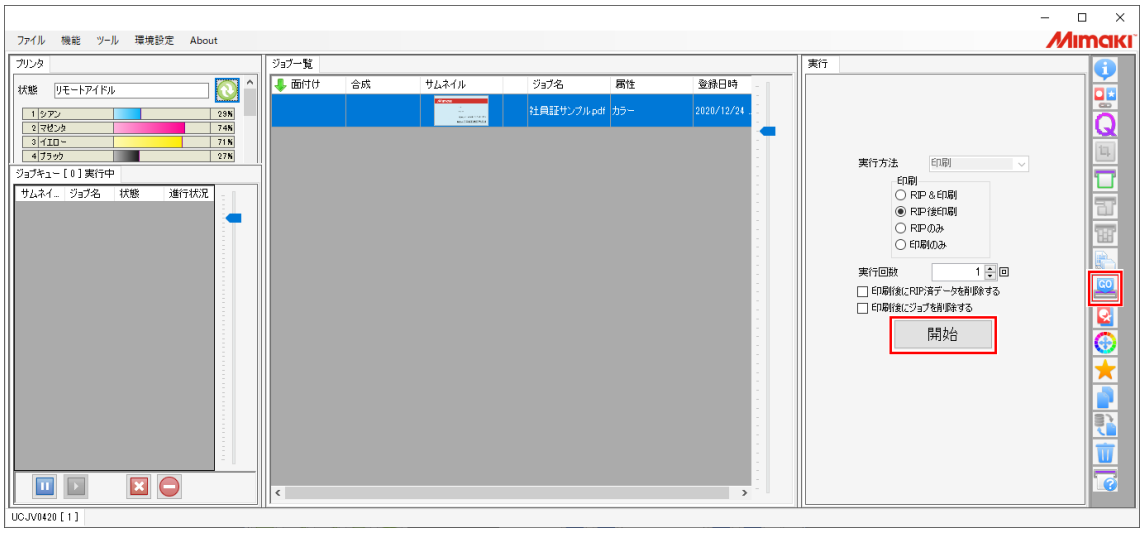
- [面積最小]を選択して[最適化]をクリックすると、横並びに変更することができます。



4 実行アイコンを選択し、[開始]をクリックする。

- テキストがある場合、1行だけテスト印刷して、設定の誤りや文字化けがないかご確認ください。

重 要！ フォントとテキストの組み合わせによっては、以下のエラーメッセージが表示され、印刷できません。以下のエラーメッセージが表示された場合は、フォントを[MS ゴシック]または[游ゴシック]に設定してください。
- 「指定したフォントが使用できませんでした。フォントを選択しなおしてください。」



第 2 章　ナンバリング機能

この章では...

ナンバリング機能を使用した差込印刷手順について説明します。

ナンバリング機能とは.....24
ワークフロー.....25
手順.....26
1. 背景画像の作成.....26
2. 背景画像の読み込み.....26
3. 差込編集画面を開く.....27
4. ナンバリング設定.....27
5. 差込印刷定義名の入力.....29
6. 差込エリアの設定.....29
7. 印刷.....31

2.1 ナンバリング機能とは

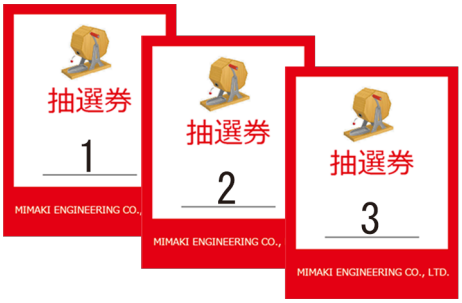
ナンバリング機能とは数字を１ずつ加減して差し込む機能です。

本章では、背景画像(共通のレイアウト)の作成から、差込印刷用のデータ作成、印刷までの手順を解説します。

以下のソフトウェアを使用します。

1. Adobe Illustrator
2. RasterLink8

● 抽選券のサンプル



ナンバリング機能が有効なケース

- ナンバリングしたデータのみを差し込み、大量に印刷するケース
  例）イベント抽選券の抽選番号など
- 単純な規則のナンバリングを差し込むケース
  例）限定商品のシリアルナンバーなど

2.2 ワークフロー

1. [デザインソフト] 背景画像の作成

☞「1. 背景画像の作成」（P. 26）

2. [RasterLink8] 背景画像の読み込み

☞「2. 背景画像の読み込み」（P. 26）

3. [RasterLink8] 差込編集画面を開く

☞「3. 差込編集画面を開く」（P. 27）

4. [RasterLink8] ナンバリング設定

☞「4. ナンバリング設定」（P. 27）

5. [RasterLink8] 差込印刷定義名の入力

☞「5. 差込印刷定義名の入力」（P. 29）

6. [RasterLink8] 差込エリアの設定

☞「6. 差込エリアの設定」（P. 29）

7. [RasterLink8] 印刷

☞「7. 印刷」（P. 31）

2.3 手順

1. 背景画像の作成

1 データを差し込むエリア（赤破線部）を想定して、背景画像を作成する。

1	ナンバリングの番号を差し込むエリア

2 作成した背景画像を保存する。

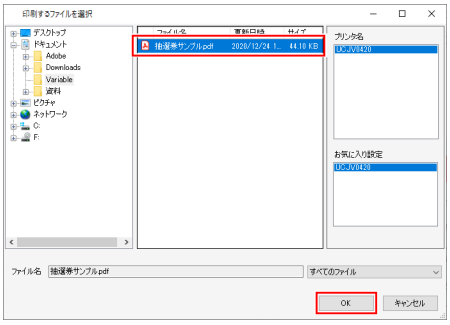
- 背景画像の保存形式は以下の３種類です。
  PDF, EPS, PS

2. 背景画像の読み込み

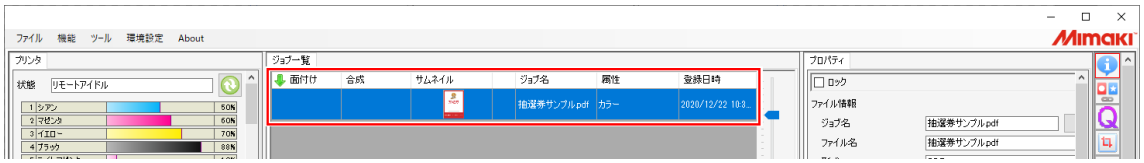
☞「1. 背景画像の作成」（P. 26）で作成した背景画像をRasterLinkに読み込みます。

1 [ファイル] - [開く]メニューを選択する。

2 [印刷するファイルを選択]ダイアログで背景画像を選択して、[OK]をクリックする。



3 入力した背景画像がジョブ一覧に表示されていることを確認する。



3. 差込編集画面を開く

1 読み込んだ背景画像を選択し、差込編集アイコンを選択する。

2 差込編集チェックボックスにチェックを付ける。

- チェックを付けると差込印刷の設定と印刷ができます。
- 背景画像のみを印刷したい場合は、チェックをはずしてください。

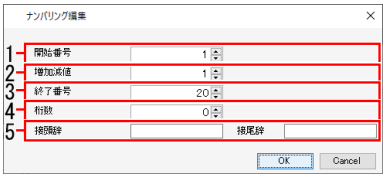
4. ナンバリング設定

ナンバリングデータを追加します。

1 [ナンバリング追加]アイコンをクリックする。

2 ナンバリング設定項目を入力します。

- 生成可能な数値は正の整数のみになります。
- 生成可能な数値の最大桁数は9桁になります。



1	開始番号	ナンバリングを開始する値を入力します。
2	増加減値	いくつずつ増やすか・減らすかを指定します。
3	終了番号	ナンバリングを終了する値を入力します。
4	桁数	ゼロ埋めする桁数を指定します。
5	接頭辞, 接尾辞	ナンバーの前後に付加する文字を入力します。 例) No.001、第001号

3 [ナンバリング編集]ダイアログで[OK]をクリックする。

- ナンバリングデータ列が生成されます。

あらかじめデータベースを読み込んである場合は、以下のようにナンバリングデータ列が追加されます。

例) 社員証データベースに社員番号のナンバリングデータ列を追加する場合

- ナンバリングデータはすでに読み込まれているデータ数の分、自動で追加されます。
- 設定した[終了値](ナンバリングを終了する値)よりもデータ数が少ない場合、[終了値]以降のナンバリングデータは空白となります。

5. 差込印刷定義名の入力

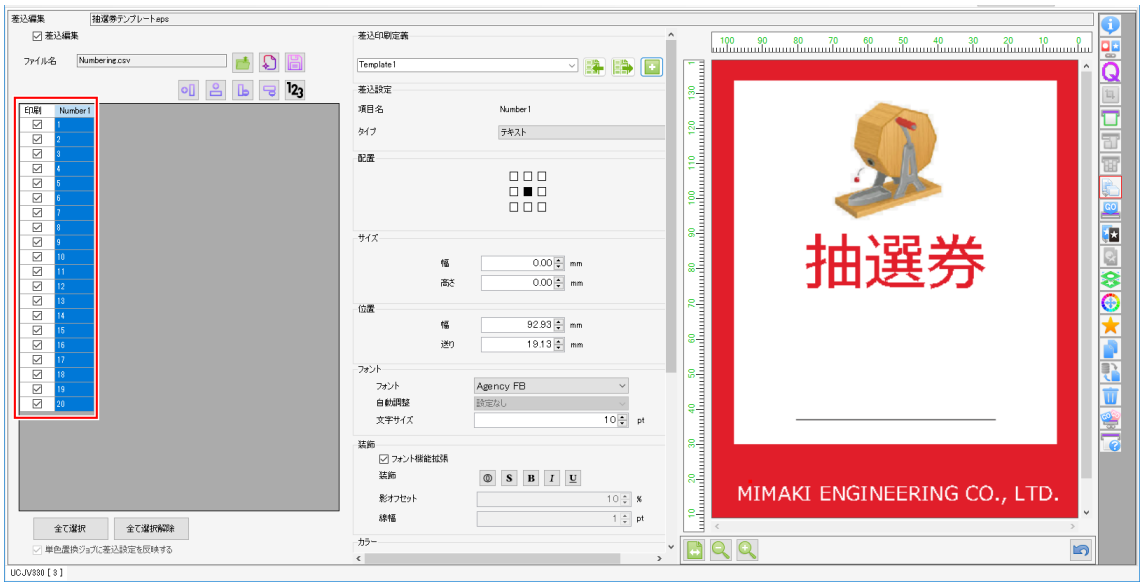
任意の差込印刷定義名を入力して をクリックします。

重要！
- 差込印刷定義名を入力しないと、差込条件を設定することができません（画面がアクティブになりません）。
- 差込印刷定義名が入力されていれば画面の終了時に差込条件が自動で保存されます。

- 保存された差込印刷定義を選択すると、差込エリアの設定条件を再設定する手間を省略できます。

6. 差込エリアの設定

1 列名称を選択する。(列全体が選択されます)

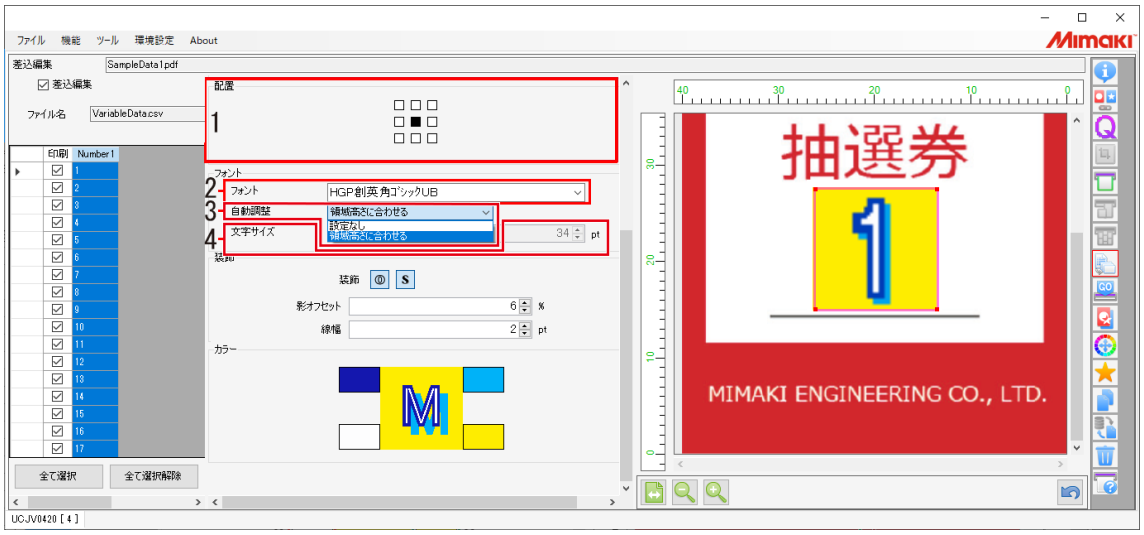


2 差込エリアのサイズと位置を決める。

- 詳しくは 「サイズと位置を決める」（P. 13）をご覧ください。

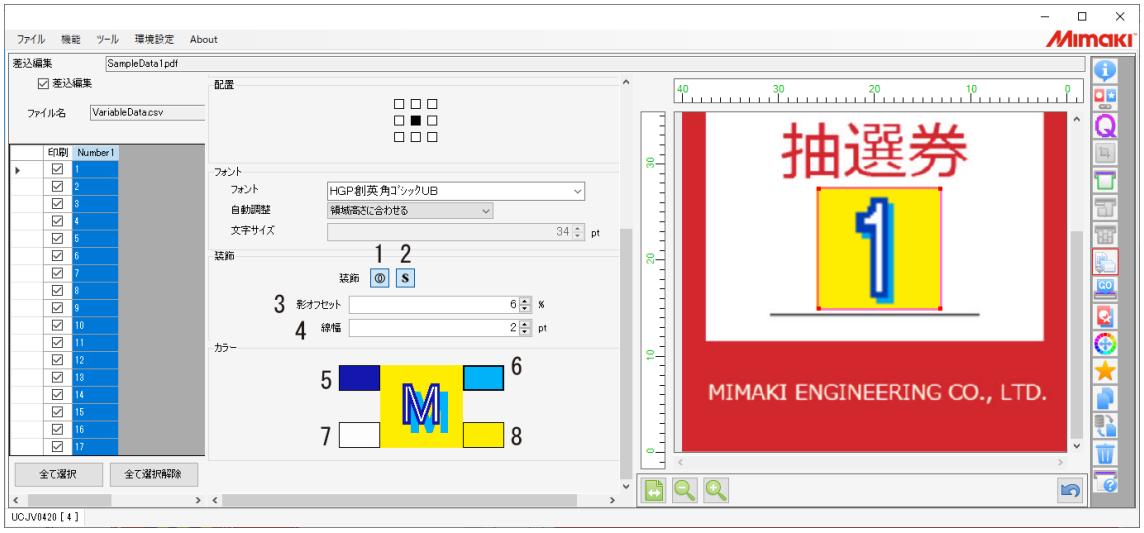
3 配置や色を設定する。

- 配置とフォントの設定



1	配置	差込エリアの配置位置を選択します。
2	フォント	フォントを選択します。
3	自動調整	• [設定なし]: 指定した[文字サイズ]に設定されます。 • [領域高さに合わせる]: 文字の高さが[サイズ]の高さに合わせて自動調整されます。
4	文字サイズ	文字サイズを入力します。 • [自動調整]で[設定なし]を選択した場合に有効です。

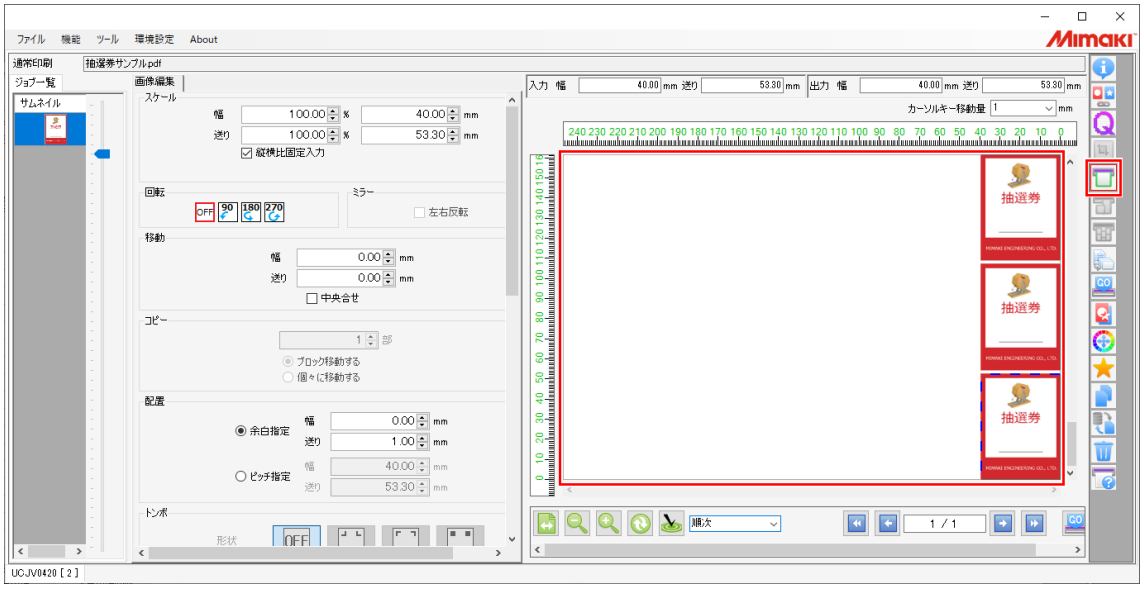
- 色の設定



装飾	テキストを装飾 (縁取り、影)します。	
1	[文字に輪郭線]アイコン	文字に輪郭線を付けます。
2	[影]アイコン	文字に影を付けます。
3	影オフセット	影のオフセット値を入力します。 • [影]アイコン をオンにした場合に有効です。
4	線幅	文字の輪郭線の幅を入力します。 • [文字に輪郭線]アイコン をオンにした場合に有効です。
5	円弧と文字の書き出し位置	ナンバーを円弧形状に配置する場合は設定を変更します。
カラー	テキストと余白の色 (余白の色を指定しない場合は背景色になります)、テキスト装飾時の色を指定します。	
6	文字の輪郭線の色	クリックすると色設定ダイアログが表示されます。文字の輪郭線の色を設定します。 • [文字に輪郭線]アイコン をオンにした場合に有効です。
7	影の色	クリックすると色設定ダイアログが表示されます。影の色を設定します。 • [影]アイコン をオンにした場合に有効です。
8	文字の色	クリックすると色設定ダイアログが表示されます。文字の色を設定します。
9	文字の背景色	クリックすると色設定ダイアログが表示されます。文字の背景色を設定します。

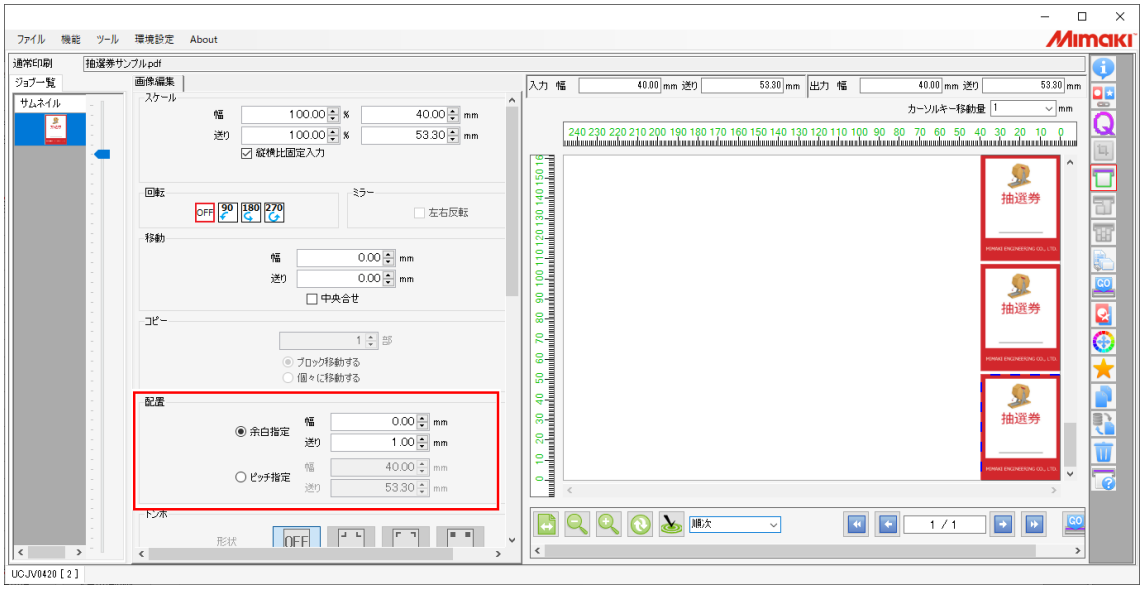
7. 印刷

1 [通常印刷]アイコン を選択し、印刷レイアウトを確認する。



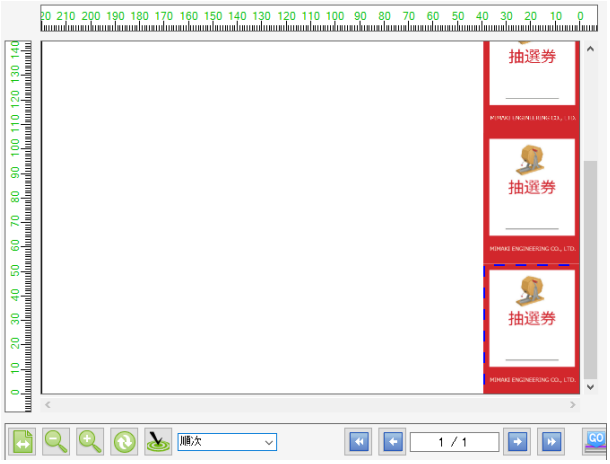
2 データ間に余白を入れたい場合、[配置]で余白値を入力する。

- 幅: 左右の余白
- 送り: 上下の余白

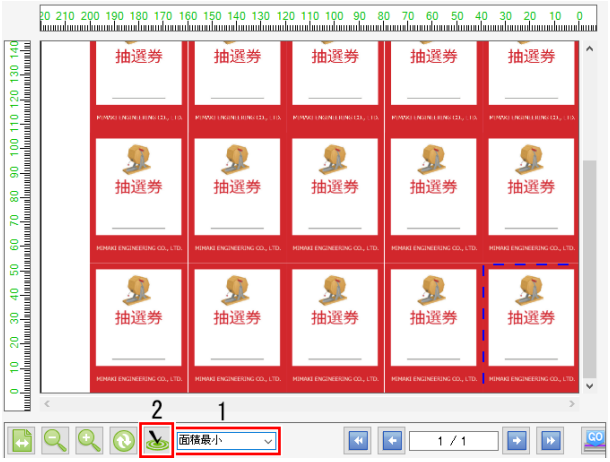


3 縦並び/横並びにする。

- 初期画面は縦並びになります。



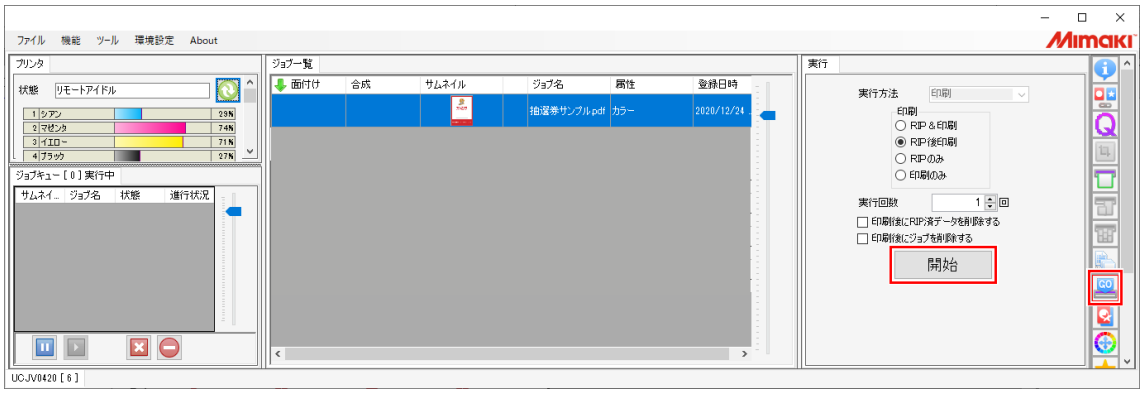
- [面積最小]を選択して[最適化]をクリックすると、横並びに変更することができます。



4 実行アイコンを選択し、[開始]をクリックする。

- テキストがある場合、1行だけテスト印刷して、設定の誤りや文字化けがないかご確認ください。

重要！ フォントとテキストの組み合わせによっては、以下のエラーメッセージが表示され、印刷できません。以下のエラーメッセージが表示された場合は、フォントを[MS ゴシック]または[游ゴシック]に設定してください。
- 「指定したフォントが使用できませんでした。フォントを選択しなおしてください。」



第 3 章　こんなときは

この章では...

トラブルが起きたときの解消方法や、やり方がわからないときの操作方法などを説明します。

エラーメッセージの対処方法.....36
データベースを差し替えるには.....37
差込印刷と合成を組み合わせた印刷物を作成するには.....38
差込印刷で使用できるフォントを増やすには 39

3.1 エラーメッセージの対処方法

エラーメッセージ	原因	対処方法
指定したファイルが別のアプリに使用されたため開けません。そのアプリを閉じてからもう一度開いてください。	• 選択したファイルが別のアプリケーションで開かれています。	• 別のアプリケーションでファイルを閉じてください。
列に画像のファイルパスが見つかりません。	• タイプをテキストから画像に変更する際、選択したファイルパス先に画像データが存在しません。	• 選択したファイルパス先に画像データを置いてください。

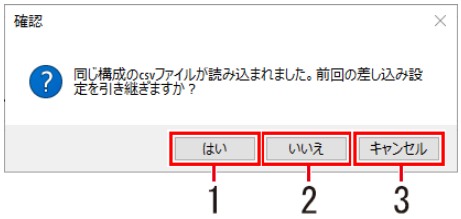
3.2 データベースを差し替えるには

データベース(CSV)を差し替えます。

1 データベース(CSVファイル)読み込みボタンをクリックする。

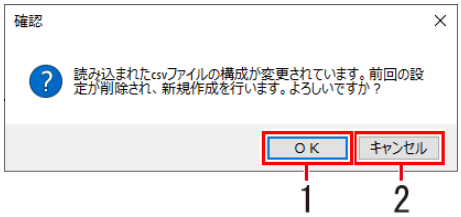
2 差し替えたいデータベースを読み込む。☞「6. データベースの読み込み」（P. 12）

- データベースの1行目（ヘッダ部）の列の名前、列数、および順番が同じ場合は、以下の確認ダイアログが表示されます。



1	はい	差込みの設定を引き継いで、データベースを差し替えます。
2	いいえ	差込みの設定を破棄して、データベースを差し替えます。
3	キャンセル	データベースの差し替えをキャンセルします。

- データベースの1行目（ヘッダ部）が異なる場合は、以下の確認ダイアログが表示されます。



1	OK	差込みの設定をリセットして、データベースを差し替えます。
2	キャンセル	データベースの差し替えをキャンセルします。

重要！
- データベースを差し替えると、ナンバリング設定は削除されます。☞「ナンバリング機能」（P. 23）

3.3 差込印刷と合成を組み合わせた印刷物を作成するには

以下の表に含まれる組み合わせの合成ジョブを作成して印刷することができます。
以下の表に含まれない組み合わせの合成ジョブを作成した場合、RIP時にエラーとなります。

	1	2
2層目	特色版ジョブ	差込ジョブ
1層目	差込ジョブ	特色版ジョブ

● 差込ジョブを含む合成ジョブの作成手順

1 差込印刷の背景画像を読み込む。 ☞ 「4. 背景画像の読み込み」（P. 11）

2 読み込んだジョブから[版作成]機能または[単色印刷]機能により特色版ジョブを作成する。

- 版作成または単色印刷の手順についてはRasterLinkリファレンスガイドをご覧ください。

3 手順1の差込ジョブと手順2の特色版ジョブを合成する。

- 合成の手順についてはRasterLinkリファレンスガイドをご覧ください。

4 手順1の差込ジョブに差込設定を行う。 ☞ 「5. 差込編集画面を開く」（P. 11）

5 印刷する。

重要！ 差込ジョブを含む合成ジョブを作成する場合、以下の制限があります。
- 特色版ジョブは必ず差込ジョブから作成する。
- 差込ジョブを含む合成ジョブで、合成画面のミラーを設定することはできない。
- 差込ジョブを含む合成ジョブで、色置換を設定することはできない。
- 差込ジョブと特色版ジョブのカラーマッチング設定を揃えること。差込ジョブと特色版ジョブのカラーマッチング設定が異なるとRIPエラーになる。
- 以下のジョブには差込編集を設定できない。
  - 色置換設定を含む合成ジョブ

● 差込ジョブを含む合成ジョブの合成解除手順

1 差込ジョブの差込編集画面で[差込編集]のチェックを外す。

2 [合成]画面で[解除]を実行する。

3.4 差込印刷で使用できるフォントを増やすには

フォントをOSにインストールすることで、差込印刷で使用できるフォントを増やすことができます。
差込印刷で対応しているフォントの種類は以下の通りです。

- TrueTypeフォント(.ttf、.ttc)
- OpenTypeフォント(.otf)

お使いのOSに合わせて、フォントファイルの右クリックメニューで以下の項目を実行してください。

- Windows10
  [すべてのユーザーに対してインストール]
- Windows11
  [その他のオプションを確認] - [すべてのユーザーに対してインストール]

重要！
- フォントをOSにインストールするには管理者権限が必要です。

RasterLink8 差込印刷ガイド

2026年10月

発行者　株式会社ミマキエンジニアリング
発行所　株式会社ミマキエンジニアリング
〒389-0512
長野県東御市滋野乙2182-3

D204018-10-05102026

© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD.2026

HK

SW : 1.0.0